

きらり高千穂人

今年は例年より早く出荷 きんかんたまの贈呈

1月24日、きんかんたまたまの贈呈が行われました。
高千穂地区果樹振興会きんかん部会(工藤慎一郎部会長)は、郡内で22戸の農家うち本町内は11戸が3・9ヘクタールで栽培を行っており、今年は、79トンの出荷を目標に、これらが最盛期を迎えます。工藤会長は、「例年より小ぶりではあるが糖度は高い。また、早くから着色し色合いもよく、出荷が前倒しとなった」と話しました。



町長にきんかんを手渡す工藤部会長

新型コロナウイルスの終息も願い 五穀豊穡と平穏を祈る猪々掛祭

1月5日、高千穂神社で猪々掛祭が行われました。この祭りはその昔、この地で暴れまわっていた「鬼八」を退治したところ、その霊が早霜を降らせる災いをもたらしたことから、毎年、旧暦12月3日に行われています。この祭りの中で行う「笹振り神楽」は、高千穂神楽の原形の一つとされており、供えられた猪を前に、笹を振りながら「鬼八眠らせ歌」を歌い奉納をします。



笹をゆっくり左右に振りながら、歌を口ずさみます。

文化財防火デー 高千穂神社防火訓練

1月21日、文化財防火デー(1月26日)を前に高千穂神社が防災訓練を行いました。
例年は、消防署や消防団との合同訓練を行っているが、今年は、新型コロナウイルスのため職員のみで実施。社殿裏山林からの出火を想定し、消火器やバケツによる初期消火を行った後、狛犬などの文化財を持ち運びました。後藤宮司は、「初期が大事。文化財を預かっている気持ちで行った」と話しました。



保管場所を確認しながら文化財を運ぶ神社職員

九州中央自動車道「高千穂雲海橋道路」 中心杭打ち式でまた一歩前進

1月15日、九州中央自動車道「高千穂雲海橋道路」の中心杭打ち式が、町休養村管理センターで行われました。
甲斐町長は、「早期全線開通に向け、沿線地域の官民一体となって取り組んでいきたい」と謝辞を述べました。
九州自動車道「国道218号高千穂雲海橋道路」は、延長3・3km、幅員12m。これから本格的な測量に着手し、道路設計へと進みます。



開通へ向け長い道のりの第一歩

みやざきハイスクールExpo 特別賞受賞

宮崎県教育委員会主催のみやざきハイスクールExpo(エキスポ)「県立コミュニケーション・スクールオンラインシンポジウム」において、高千穂高校生産流通科1年平木優亜さん・酒井麻奈美さん・神部ひびきさんが、世界農業遺産学習の活動内容として、「肉用牛、神楽、焼畑」をテーマにプレゼンテーションを行いました。参加10校中、唯一1年生のみでの参加。見事、特別賞を受賞しました。



第1回少年少女相撲大会 小学4年女子の部優勝

12月25日に千葉県柏市中央体育館で開催された、第1回少年少女相撲大会・柏力杯全国の4歳から小学6年生までの約250名が参加の小学4年女子の部において、堀姫明華さん(高千穂相撲クラブ・高千穂小)が優勝しました。
その他の参加選手の成績
・小学男女混合2年生の部 ベスト8 堀瑠琉華
・小学5年生女子の部 ベスト4 甲斐友梨
※いずれも高千穂小学校



県市町村対抗駅伝競走大会 区間賞を獲得

1月10日に宮崎市で開催された、第12回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会において、第9区(小学生女子1・4km走者の森下久瑠実さんが、5分21秒の好タイムで町村の部の区間賞を獲得しました。
本町は、2時間22分48秒のタイムで、町村の部第9位(昨年は中止、一昨年は第3位)でしたが、森下さんをはじめ、小中学生で有力な選手が育っており、今後、上位入賞が期待されます。



土砂災害防止作品(絵画)の部 銅賞受賞

土砂災害防止月間(毎年6月)の一環として、小中学生の土砂災害についての理解と関心を深めるため行われた、令和3年度土砂災害防止に関する絵画・作文募集の絵画の部において、上野中学校2年廣木愛梨さんが銅賞を受賞しました。
廣木さんは、「家の近くが急傾斜地のため、避難場所を再確認したことがきっかけ。家族とハザードマップを確認し災害に備えたい」と話しました。

